

災害廃棄物処理 受け入れ

放射能に汚染されていないか。安全対策が一番の問題！

環境省は、今回の大地震によって発生した岩手・宮城両県の災害廃棄物の約20%を広域処理する方針を打ち出しました。これを受け、各自治体で検討が行われています。広域処理の場合、放射能に汚染されていないか。安全対策が一番の問題となっています。

国の責任で、しっかりした安全基準を

党市議員団は、4月24日山野市長に申し入れを行い、しっかりした安全基準と安全対策を求めました。

申し入れ全文は、ホームページに掲載しています。



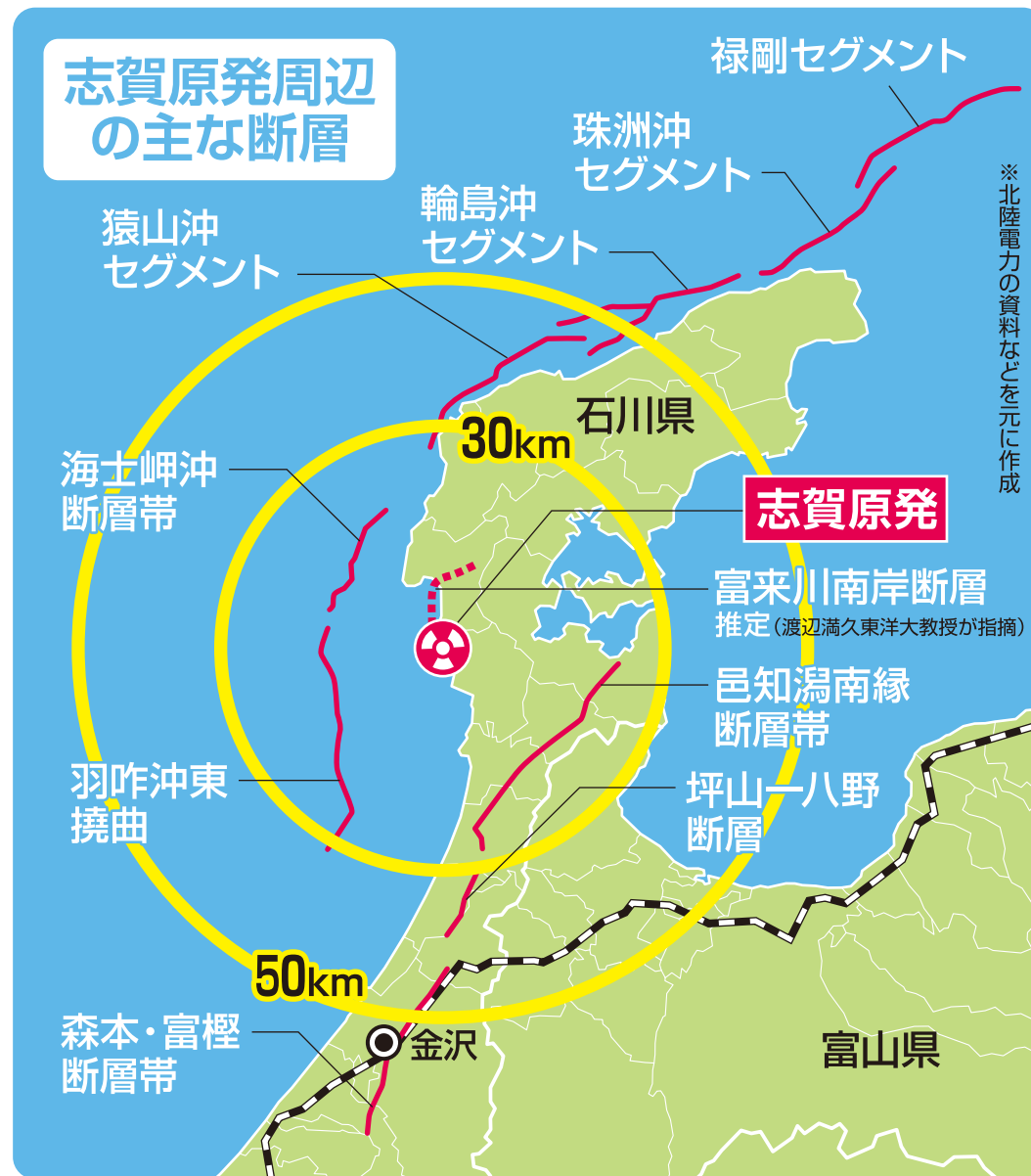
岩手県・陸前高田市を訪ねる

升、森尾両市議が6月6日大震災から1年3ヶ月経過した被災地を訪ね、災害廃棄物の処理状況をお聞きしました。



災害廃棄物は255年分に相当

処理できたのは11%にすぎません。金沢市では専門家による検討委員会が8月頃にまとめを行い、その後受け入れるかどうかを判断するとしています。



※北陸電力の資料などを元に作成

志賀原発から北約9キロにある「富来川南岸断層」が、原発耐震設計で考慮しなければならぬ活断層の可能性があることが、渡辺満久・東洋大学教授らの調査で明らかとなりました。

地震や津波対策についても従来の対策では不十分です。さらにすぐ近くに活断層があるとの指摘は、こんな危険な場所に原発を作っているのかという志賀原発の安全性が根底から問われる事態となっています。

森尾市議は、6月市議会で「このままでは再稼働はあってはならない」と指摘。山野市長は、「福島原発事故の原因究明に基づく安全対策、ストレステスト結果が重要」と述べ、市の新たな防災対策では、志賀原発を念頭に、市民の放射線防護対策として安定ヨウ素剤配備などを盛り込むとしています。

志賀原発はストップしたまま

「再稼働やめてー」の声が首相官邸にとどろきました。6月29日夕方空前の20万人が参加しました。安全対策がとれないままの「原発再稼働はノーだ」の行動と声が日本列島を包んでいます。

北9キロには富来川南岸断層

志賀原発の

再稼働はやめて



お気軽に
ご相談下さい

ひとりで悩まず……
困ったときはお電話を

日本共産党 金沢市議員団

☎220-2407 (議員団控室)

日本共産党 金沢市議員団
ニュース

No.277 2012年7月 日本共産党金沢市議員団
金沢市広坂1-1-1 金沢市議会内 TEL.076-220-2407 FAX.076-260-6588
Eメール jcp.kccd@spacelan.ne.jp 金沢市議員団 検索